

平成15年度後期 学会講演・研究会

於昭和女子大学

平成15年10月18日（図書館）

- 最後の佐渡奉行 歌人・鈴木重嶺
- 10月22日（人間社会学部研究会）
- グローバル化の進展と日本の賃金問題
- ポジティブ心理学－楽観主義を中心として－
- 10月23日（女性文化研究所研究会）
- 国際女性デーは大河のように
- 11月8日（第14回女性学公開講座）
- キャリアデザインとインターンシップ
- －そして今思うこと 私の仕事と生活
- 企業の中の女性－しなやかに道を拓く
- 11月26日（環境文化研究会）
- 大さん橋国際客船ターミナルについて
- 日本の気候とガラス建築外皮に用いられるガラス素材の利用形態に関する研究
- 11月26日（初等教育学科教員研究会）
- 子どもの文化における大人・老人の役割－良寛と子ども・児童との関わりから考える－
- 12月6日（文化史学会第12回大会）

教授 深 澤 秋 男
教授 木 下 武 男
教授 古 川 真 人
教授 伊 藤 セ ッ
教授 首 藤 宣 弘
助教授 杉 浦 久 子
(株)アサップ代表取締役・立教大学大学院講師 山 口 一 美

- 手漉き時代の製紙技術の流れ
- 韓国の古代歌謡“郷歌”
- 中屋敷遺跡第5次調査報告
- 千葉県野田市瀬戸寺田家守札資料調査中間報告
- 一伝世品から得た「錦」の織組織について
- 唐招提寺所蔵の訓伽陀資料について

講師 田 村 圭 介
助手 内 田 敦 子
講師 柳 辰 男
教授 増 田 勝 彦
本学学生 坂 田 沙 代
本学大学院生 鈴木 由貴子・半 田 素 子
本学大学院生 根 津 知 美子
助教授 安 蔵 裕 子
教授 関 口 静 雄

平成16年1月14日（人間社会学部研究会）

- 社会的養護の新たなシステムづくりに向けて
- バルト地域と国際関係
- 1月14日（初等教育学科教員研究会）
- タイの学校と子どもたち
- 1月21日（環境文化研究会）
- 韓国の日本語教育への歩み－現況と今後の展望をめぐって－
- 1月28日（初等教育学科教員研究会）
- 今日の子どもの造形表現の特徴と評価の在り方
- 2月18日（日本文学研究会）
- 王羲之について
- 芥川龍之介「一塊の土」について
- 2月18日（英米文学研究会）
- 読解指導と読解ストラテジーに関する意識の研究

講師 高 橋 久 雄
教授 志 摩 園 子
講師 松 本 淳
講師 李 淑 炫
助教授 清 水 満 久
講師 承 春 先
助手 平 野 晶 子

- 翻訳を考える
- 2月18日（環境文化研究会）
- 『最後の晚餐』の椅子はどんな椅子だったのか－映画・絵画にみるインテリア－
- 2月26日（女性文化研究所研究会）
- 西川文子の職業観－『新真婦人』を中心に－
- 夫妻の生活時間変化の事例研究－1995年と2000年の間で－
- 生活時間エシックスを考える

教授 Gordon Robson・緑 川 日出子
講師 高 野 恵美子 助教授 小 野 尚 美
講師 原 田 俊 明
教授 光 藤 俊 夫
女性文化研究所研究生 鈴 木 朋 子
講師 粕 谷 美砂子
教授 掛 川 典 子

平成15年度 国語国文学科第二部 卒業論文・卒業制作題目

- 卒業論文 ○更級日記－菅原孝標女の研究－
○『三国志』人物研究－諸葛孔明と忠義心－
○蜻蛉日記研究
卒業制作 書道 ○各書体における古典の追究

江口 有子
竹野 華果
花澤 香里（平成15年9月卒業）
大塚 奈美

正誤 「学苑」761号（2004年2月号）表紙目次9行目「養護施設」は「施設養護」の誤りです。記してお詫び申し上げます。（編集室）

☆掲載論文の無断転載を禁じます。

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂一ノ七 電話 03(三四一一)五三〇〇	発行所 昭和女子大学 近代文化研究所	印刷所 勝小田印刷	編集発行人 小此木成夫	平成十六年三月一日発行	平成十六年二月二十日印刷	購読料 一カ年分 九二四〇円 (本体 八八〇〇円)	定価 八四〇円(本体八〇〇円)	学苑 七百六十二号

平成15年度学苑編集委員

- 委員長 小此木 成夫（昭和女子大学副学長）
委員 檜田 良枝（日本語日本文学科）
森本 真一（英語コミュニケーション学科）
Jasna Dubravac（同上）
田畑 久夫（歴史文化学科）
下村 久美子（生活環境学科）
伊藤 セツ（福祉環境学科）
藤島 喜嗣（心理学科）
下川 恵美子（現代教養学科）
大森 和子（生活科学科）
久下 裕利（人間文化学科・国文系）
佐藤 道子（同・英文系）
横塚 昌子（食物科学科）
松本 淳（初等教育学科）
李 守（総合教育センター）